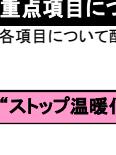
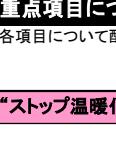
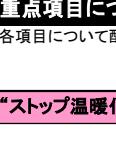
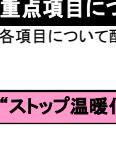


重点項目についての環境配慮概要							内訳対応項目							
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。														
“ストップ温暖化しづおか行動計画”の推進(Global Warming)														
	■室内環境対策 (①室温制御/②星光対策/③グレア対策)/④部品・部材の耐用年数 ④配管配線材の更新必要間隔は16年～30年 ④主要設備機器更新必要間隔は16年～30年	Q-1	2	2.1	2.1.3	①	外皮性能	Q-1	3	3.1	3.1.3	②	星光利用設備	
						③	星光制御			3.2	3.2.2	③	星光制御	
	■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) 室外環境(敷地内)対策については、特筆すべき事項はない。	Q-3	1			⑤	生物環境保全と創出	Q-2	2	2.2	2.2.1	④	外壁仕上げ材の補修必要間隔	
						⑥	敷地内温熱環境の向上			2.2.2	2.2.2	④	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	
	■エネルギー対策 (⑦建物の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率の運用) ⑩インバーター仕様による省エネ型エアコンを採用	LR-1	1			⑦	建物の熱負荷抑制			2.2.3	2.2.3	④	配管・配線材の更新必要間隔	
						⑧	自然エネルギー直接利用			2.2.4	2.2.4	④	主要設備機器の更新必要間隔	
	■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫低環境負荷材) ⑫ハロン消火剤は一切使用していない。 ⑫ノンフロンタイプの断熱材(グラスウール)を使用している。 ⑫新冷媒R410A使用によるCO2排出量の削減を図る。ODP=0とする。	LR-2	1	1.1		⑪	節水			3	3.2	⑥	敷地内温熱環境の向上	
						1.2	1.2.1			4	4.1	⑩	モニタリング	
						1.2.2	⑪			4.2	4.2	⑩	運用管理体制	
	■敷地外環境対策 (⑬温熱環境悪化の改善) 敷地外環境対策については、特筆すべき項目はない。	LR-3	5			⑬	温熱環境悪化の改善							
“災害に強いしづおか”の形成(Disaster)														
	■サービス性能対策 (⑭耐震・免震/⑮信頼性) ⑯地域係数Z=1.2、用途係数I=1.25	Q-2	2	2.1	2.1.1	⑭	耐震性			2.1.2	⑯	免震・制振性能		
					2.4	2.4.1	⑮		2.4.2	⑮	空調・換気設備			
					2.4.3	⑮			2.4.4	⑮	給排水・衛生設備			
					2.4.5	⑮			2.4.5	⑮	電気設備			
													機械・配管支持方法	
													通信・情報設備	
“しづおかユニバーサルデザイン”の推進(Universal Design)														
	■サービス性能対策 (⑯機能性・使いやすさ/⑰心理性・快適性/⑱空間のゆとり) 工場天井高を4.37m～4.49mとした。 事務所居室天井高を2.6mとした。	Q-2	1	1.1	1.1.3	⑯⑰	ユニバーサルデザイン計画			3	3.1	3.1.1	⑯	階高のゆとり
					3.1.2	⑯							空間の形状・自由さ	
	■室外環境(敷地内)対策 (⑲地域性・アメニティへの配慮) 室外環境(敷地内)対策については、特筆すべき項目はない。	Q-3	3	3.1		⑯	地域性への配慮、快適性の向上							
“緑化及び自然景観”的保全・回復(Nature)														
	■室外環境(敷地内)対策 (⑳生物環境の保全と創出/㉑まちなみ・景観への配慮/㉒敷地内温熱環境の向上) ⑳外構面積の22.5%を緑化している。 ㉑建物配置は周囲に植栽の空間を確保し、外壁色は彩度を抑えた色を基調とした。	Q-3	1			⑳	生物環境保全と創出			2		㉑	まちなみ景観への配慮	
					3	3.2	㉑						㉒	敷地内温熱環境の向上
	■敷地外環境対策 (㉓温熱環境悪化の改善) 敷地外環境対策については、特筆すべき項目はない。	LR-3	5			㉓	温熱環境悪化の改善							